

# 藤木しんや 国政報告

第2号  
平成30年9月発行

自由民主党東京都参議院比例区第二十支部発行  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-12安輝ビル4階  
TEL.03-6262-9936 FAX.03-6262-9937



**日** 本は国土の約7割が中山間地域です。中山間地域農業は全国の耕地面積の約4割、総農家数の約4割を占め、食料供給・農業の多面的機能の維持において大きな役割を果たしています。しかし、耕作条件が厳しく、平地と比べてどうしても耕作放棄率が高くなってしまっているのが現状です。また、大半が傾斜地であり、ほ場の規模拡大や大型農機の導入、農地集約

**国** 政の場に送り出している。ただいまから2年が過ぎました。多くの方々のご支援、ご協力により今日に至ることができました。この2年間で、日欧経済連携協定(EPA)交渉や米国抜きで環太平洋経済連携協定(TPP11)、東アジア地域包括的経済連携(RCEP)といった国際連携協定の動きが強まりました。政府はギリギリのラインで農畜産物の関税をとどめているという認識ですが、各地を回らせていただいた感覚としては、農家の皆さんの心配を払拭できているようには感じられません。現場の方々が本当に求められている国内対策を充実させ、しっかりと実行しているよう、「現場感」をもって農政課題に取り組んでまいります。

日本農業には大規模農家も必要ですし、家族農家も必要です。多様な農業経営があつてこそ日本農業が守れるのだと思います。その旨を政府にはしっかりと認識してほしいと思います。農家の皆さんの声を背に、農家の主張が実現できるように全力を尽くします。

**全** 国各地の農地・農村の維持・管理をしているのは各地の家族経営の農家の皆さんが中心です。しかし、国は規模拡大や企業参入を推し進め、大規模化できる農家や大規模農地を管理できる企業に追い風になるような方向で農政を進めようとしています。一方、地域資源に恵まれた中山間地域には規模拡大に頼れない収益力のある農業を実現できる可能性があると考えられています。中山間地域を守っている家族経営の農家の皆さんが、安定して農業を継続していくことができるよう、政策の確立に努めてまいります。



## 現場感のある 農政へ邁進します!!

# 皆さんの「声」が支えになる! ボトムアップの農政へ!



第62回JA全国青年大会で推薦をいただきました(平成28年2月15日)

今年も各地で農政学集會や国政報告をさせていただいております。皆さんと対話する機会をいただけていること、本当に感謝いたします。各地に伺うたびに、今の農政について様々なご意見と叱咤激励をいただいております。こうした皆さんの「声」を聞くたびに、若手農家の切実な思いを訴えていた「青年部時代の血」がフツフツと蘇ってきます。まだまだ新人議員ですが、草の根運動で、皆さんからの「声」を国政に届けています。

私が所属している政策集団「宏池会」では「トップダウンからボトムアップへ」を掲げ、より多くの方の「声」を聞き、現場感のある政策を打ち出そうと邁進しております。国政の場へ送り出してくださった全国の農業関係者の皆さんの期待と初心を忘れずに農政に向き合っていきます。

各地で国政報告をさせていただきました!

藤木眞也参議院議員 国政報告会

JA役職員に国政報告  
(平成29年11月27日、静岡県)

JA本渡五和基本農政研修会  
「21世紀農業を考へる集い」

「農家の目線での国政とこれからの農業」と題して報告  
(平成30年7月8日、熊本県)

国会事務所(参議院議員会館)で皆さんからご意見・ご要望をいただきました!

都市農業の振興について青年部盟友と意見交換  
(平成30年6月28日)

多くの方々に  
お越しいただいています  
(平成30年2月27日)

## 国政報告のご依頼・ご要請等 お気軽にお声がけください! 皆さんの元へ伺います!

**藤木しんやプロフィール**  
○昭和42年2月25日生まれ ○熊本県上益城郡出身 ○熊本県立熊本農業高等学校畜産科を卒業 ○昭和61年就農 ○平成17年JA全青協会長 ○平成26年JAかみましき代表理事組合長 ○平成28年7月参議院議員選挙で初当選(全国比例区)

**【経営内容】**水田経営8ha、畜産経営1,050頭(肥育牛400頭、繁殖牛650頭)

**【趣味】**牛との語り、農機具の修理

**藤木しんやの所属委員会等**  
参議院農林水産委員会  
参議院災害対策特別委員会  
参議院議院運営委員会  
参議院資源エネルギーに関する調査会  
参議院国会対策委員会

